

平成18年度 決算報告書

国立大学法人電気通信大学

(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	5,581	5,891	310	(注1)
施設整備費補助金	438	438	0	
補助金等収入	64	150	86	(注2)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	29	29	0	
自己収入	2,964	3,061	97	
授業料、入学料及び検定料収入	2,923	3,004	81	(注3)
雑収入	41	57	16	(注4)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	610	1,075	465	(注5)
目的積立金取崩	138	110	△ 28	(注6)
計	9,824	10,754	930	
支出				
業務費	6,314	5,990	△ 324	(注7)
教育研究経費	6,314	5,990	△ 324	
一般管理費	2,369	2,224	△ 145	(注8)
施設整備費	467	467	0	
補助金等	64	150	86	(注9)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	610	1,048	438	(注10)
計	9,824	9,879	55	
収入-支出	0	875	875	

○予算と決算の差異について

(注1) 運営費交付金については前年度の繰越により予算額に比して、決算額が310百万円多額となっています。

(注2) 補助金等収入については、予算段階では予定していなかった国からの補助金の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が86百万円多額となっています。

(注3) 授業料、入学料及び検定料収入については、次のとおり予算金額に比して決算額が多額となっています。

- ・ 授業料については、過去の実績に基づき見込んでいた員数より休学者及び退学者数が減少し、かつ入学者数が増加したことにより、予算額に比して決算額が51百万円多額となっています。
- ・ 入学料については、過去の実績に基づき見込んでいた員数より入学者数が増加したことにより予算額に比して決算額が25百万円多額となっています。

(注4) 雑収入については、過去の受入実績とした予算額に比して特許関連収入等の増加により16百万円多額となっています。

(注5) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、受託研究等の獲得に努めたため、過去の受入実績から積算した目標としての予算額に比して、決算額が産学連携等研究収入 404百万円、奨学寄附金収入 61百万円それぞれ多額となっています。

(注6) 目的積立金取崩については、契約差金等により予算額に比して決算額が28百万円少額となっています。

(注7) 業務費については、退職手当支給対象者の減及び雇用計画の見直しによる人件費の節減により、予算額に比して決算額が182百万円少額となっています。

(注8) 一般管理費については、次のとおり予算金額に比して決算額が少額となっています。

- ・ 経費削減等に努めたことにより、予算額に比して決算額が71百万円少額となっています。
- ・ 退職手当支給対象者の減及び事務の効率化による人件費の節減により、予算額に比して決算額が48百万円少額となっています。

(注9) (注2) に示した理由等により、予算額に比して決算額が86百万円多額となっています。

(注10) (注5) に示した理由等により、予算額に比して決算額が438百万円多額となっています。